

2017

冬号

Winter

No.14

2017年2月1日発行



八鍬税務会計 事務所通信

〒349-0114

埼玉県蓮田市馬込1丁目31番地

Tel 048-769-9551 Fax 048-769-9550

tax-yakuwa@air.ocn.ne.jp

<http://www.yakuwa.net>



今季号のご案内

- ★ 税務カレンダー
- ★ 税務 TOPIX
- ★ NEWSWAVE
- ★ 税金 Q&A
- ★ 事務所よりお知らせ



ごあいさつ

千辛万苦 (せんしんばんく)

19年ぶりの日本人横綱の誕生に沸いた大相撲初場所。既に優勝は決まっているとはいえ、千秋楽結びの一番、横綱 白鵬と大関稀勢の里との大一番に興奮した人も多かったのではないでしょうか。

勝負が決した瞬間、大歓声の中で勝ち名のりを受け、土俵の上に立つ稀勢の里の姿には、みなぎる自信と異様な風格を感じた気がします。

大関になるまでの稀勢の里は、中学卒業と同時に15歳で角界入りし、17歳で新十両、18歳で新入幕と、大関昇進まではトントン拍子。しかし、そこからが長い道のり、10勝・11勝に止まることが多く、何かが足りないと揶揄されたことも。日本人横綱誕生という周囲の期待に押され、肝心なところで下位力士に取りこぼしてしまう悪い癖。さまざまな重圧が彼を優勝から遠ざけていたのかも知れません。

小学校5年の時の彼の作文「天才は生まれつきです。もうなれません。努力です、努力して天才に勝ちます」この日の一番は、まさしくその努力が天才を凌いだ瞬間ではなかつたろうか。

『努力だけで過去の事業が成功してきたかというと、そうではない。やはりこれには運がプラスされている。しかしながら努力のないところには、絶対に幸運は来ない』の名言を残したのは、鮎川義介氏（1880年～1967年）。同氏は、明治36年、東京帝国大学（現 東京大学）を卒業後、芝浦製作所（現 東芝）に入社。しかし、鑄物職人になりたいという夢を捨てきれずに、東大卒の学歴を隠して職人の途に進み、その後鑄物技術を学ぶために単身渡米、帰国後日立製作所や日本水産、日産自動車など日本を代表する事業会社を次々と興し、技術立国日本の礎を築いた人物。その後昭和28年まで参議院議員として活躍し、戦後日本の経済復興に貢献したことでも有名。

30歳にして綱をつかんだ稀勢の里、鑄物で世界を制した鮎川氏、ともに千辛万苦の末につかんだ立志伝中の人物として歴史に名を残すことに間違いなさそうだ。



参議院議員時代の
鮎川義介氏

所長 八鍬 伸一

税務 TOPIX

トランプ大統領、報酬辞退を申出

第45代米国大統領の座に就いたトランプ氏。就任早々およそ年間4,300万円の報酬を辞退すると宣言。しかし、法律上マズイということで、年間1ドルで働く意向を示したとか。総資産4,000億円ともいわれるトランプ氏だけに、私達凡人には想像できない感覚。日本でも報酬を辞退する政治家がもう少し出てもらいたいものです。



訪日観光客 初の2,400万人超え!!



平成28年中の一年間に日本を訪れた外国人観光客数が急増、これまでの最高となる2,403万9千人、前年より22%の増加となりました。地域別にみると、第一位が中国人観光客、次いで韓国、台湾とアジアからの訪問客が大部分を占めています。

安倍政権が掲げる年間3,000万人も射程圏に入った模様。東京オリンピックが開催される2020年までは増加の一途を辿りそうです。

天下り高官あっせん次官に8,000万円の退職金

文科省高官の天下りをあっせんしたとして引責辞任した前川事務次官。天下り問題が発生するや否や「依頼退職」を申し出て、約8,000万円の退職金をゲット。同氏は2015年当時、積極的に天下りあっせんに関わったとして疑われている人物。もし「懲戒免職」となれば、退職金はゼロ。それを見越しての依頼退職? 税金の無駄遣いと言われても仕方ありません。



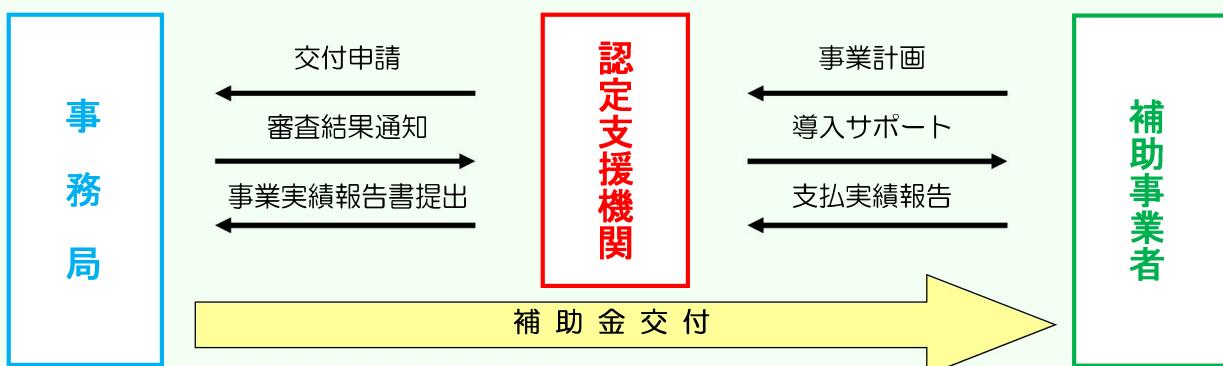
NEWS WAVE

「IT補助金」公募スタート(1/27から)

平成29年1月27日から地域事業投資促進事業の一環として、第一次IT補助金の申請受付けがスタートしました。(2月末日まで) 検討中の方は 認定支援機関 ハーフ会計までお申し出ください。

対象となる事業の詳細

- ① 革新的なもの作り・商業・サービス開発支援
(補助金上限 3,000万円、1,000万円、500万円、補助率 2/3)
- ② 中小企業IT経営力向上支援
(補助金上限 100万円、下限 20万円、補助率 2/3)
- ③ 需要開拓支援(小規模事業者対象)



税金 Q&A

巷で話題の主婦でも入れる年金っていったい何のこと？

それは今年(平成 29 年)1 月から加入対象者が拡大された『個人型の確定拠出年金』です。

確定拠出年金 iDeCo (愛称イデコ) とは …

簡単にいうと、60 歳までに月々5,000 円以上の決まったお金(拠出金)を出して、自身で選んだ株や投資信託、定期預金等の商品を組合せて運用し、60 歳から受け取る自己年金のことです。ただし拠出金は無制限に認められるわけではなく、次のように限度額が設けられています。



税理士 ハ鍼幸江

拠出金限度額

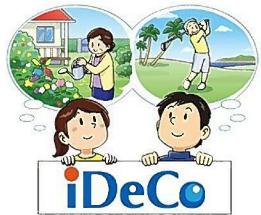
会社員
年間 276,000 円

自営業者
年間 816,000 円

※ 自営業者は、
国民年金基金との合算で
861,000 円まで可能です

メリット

税制面でかなり有利



① 掛金支払時 社会保険料控除ができる

例えば課税所得 300 万円の自営業者が限度額の 861,000 円を拠出していた場合
所得税と地方税 合わせて年間 174,000 円の節税になります。

② 運用時 全て非課税

③ 受取時 年金で受取るか 一時金で受取るかを選択

年金で受取る場合

公的年金等控除を使える

公的年金との合計が 65 歳未満なら 70 万円、
65 歳以上なら 120 万円まで控除される。

一時金で受取る場合

退職所得控除を使える

積立年数 = 勤続年数として計算する。
積立年数が長ければ退職所得控除額も高額に。

デメリット

① 投資リスクがある (運用は各自の運用指図によります)

② 原則 60 歳まで途中引出できない (途中解約不可)

③ 管理コストがかかる (顧客管理が必要なため)



選択のポイント

- ・公的年金の受給資格は現在 65 歳から。将来は 70 歳に引下げられる案や支給額の減額案も検討されています。将来の年金は自身で備える時代に入ったといえます。
- ・自営業者の方は、国民年金に小規模企業共済と iDeCo のダブルで加入することも可能です。
- ・具体的にどんな商品があるか、手数料はどうか等、金融機関や保険会社などの資料・HP で検索をより詳しい内容を知りたい方は、当事務所までお尋ねください。

天気と元気の関係にズームイン！

天気は私たちの体や心にさまざまな影響を与えています。
天気と心身の不調の関係と対策を紹介します。

天気でチェックしたいワード



『寒暖差』と『低気圧』



- ★ 一日の最低気温と最高気温の差が10℃以上になるようなときは血圧が上昇しやすくなります。
ふだんから血圧が高めの人は要注意です。

対策 … 急な血圧変動を抑える生活習慣

- 朝起きたら布団の中で、手首・足首を5分位動かす。(血流をよくする)
- 布団から出たら上着を羽織る。(寝床のすぐそばに置いておく)
- 靴下やスリッパをはく。(裸足で廊下を歩かない)
- 入浴前には浴槽のフタを外し、風呂場内を温めておく。
- 寒い日に外出するときは、暖かい服装、マフラー、手袋を着用する。



- ★ 低気圧が近づくと天気は下り坂になりますよね。

気圧の低下は“痛み”と非常に深い関係があると言われています。

2・3月は低気圧が日本列島を多く通過するため、関節痛や頭痛が気になる人は注意しましょう。

対策 •ひざ掛けなどで冷えから守り、足元を温かくする。

- 日頃の運動で関節を支える筋肉を鍛えておく。
- 失いがちな軟骨成分をサプリメントなどで補うのもOK。

まだまだ寒い日が続きます、ちょっとした注意や工夫で元気に寒さを乗り越えましょう。

事務所よりお知らせ

確定申告 青色申告サポートパック のご案内

会計帳簿はいつも後回し。申告期限の直前に徹夜で頑張る。
税務署が来たら不安。



そのようなことはありませんか？

当事務所では、申告時期ギリギリであわてることがないよう普段からしっかりサポート、また、隨時 試算表を提供することにより、銀行融資を受けやすくなったり、などということも。

当所では、『青色申告サポートパック』をご用意。月々のお支払いも無理のない低料金設定です。
この機会にぜひご検討ください。



ご相談は 八鍬会計 まで

税務会計や相続対策・事業承継・補助金申請など、お気軽にご相談ください。

また、新たに事業を始める方や税金・資金繰り等でお困りの方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

編集後記

今年も早いもので年明けから1ヶ月が過ぎ、いよいよ確定申告の時期となりました。昨年一年間の総決算。これによって今年の健康保険料の額や住民税の額が決まります。くれぐれも間違いのない申告を心掛けましょう。

連絡先 八鍬税務会計

TEL 048-769-9551

FAX 048-769-9550

tax-yakuwa@air.ocn.ne.jp

<http://www.yakuwa.net>

広報委員 八鍬 鈴木 黒須